

# 365 日を色で振り返る色日記「miruiro」の提案

奥田 いづみ

〔指導教員：武庫川女子大学講師 北原 摩留〕

## 1. 制作の背景

私は大学生になってから、スマホ利用率が増えたことやアルバイトを始めて帰宅する時間が遅くなったことなどから、一日を振り返る時間を取ることもなく忙しい毎日をなんとなく過ごしてしまっていた。また、コロナ禍により自粛生活が広まる世の中で外に出られない日々が続く、切れ目のない同じような日常を送っていると、一年の過ぎるスピードが本当に早く感じるようになった。そのため、一日一日をもっと大切に過ごせる、その日の自分自身の気持ちを残しておけるようなプロダクトを提案したいと考えた。自分自身の気持ちを残すプロダクトとして身近に挙げられるのは「日記」であると考え、20代女性を中心に日記に関する調査を実施したところ、日記や日々の記録をつけている人はわずかだったが、つけてみたいと思う人は多いことがわかった。記録を通して毎日を大切にすることで、自分自身と向き合う時間を少しでも楽しんでほしいと私は考える。

## 2. 制作の目的

本研究では、「文章」ではなく、日々の感情や印象に残ったことや物を「色」で残す「色日記」の制作を行う。日常を色で表すことにより、いろいろな物を見たり考えたりするようになり、なんとなく時間が過ぎてしまうことが少しでも減るのではないかと考える。また、一日一回色をつけるだけというカジュアルさから毎日続けやすいものを目指す。より簡単且つカジュアルに日々の記録を行ってもらうとともに、一年後、さらに数年後、その年を振り返ったときにも楽しさを味わってもらえることを目的とする。

## 3. 「miruiro」の提案

### 3-1 制作の概要

日々感じた気持ちを大切にしたい、そんな思いから「miruiro」という商品を提案する。一日一色、その日の色を記録し、一年間の自分を色で振り返ることができる商品である。日記への関心は男性よりも女性が高いという調査結果から、女性をターゲットとし制作を進めた。

たくさんの情報に囲まれて生きている中で、自分が感じた気持ちを振り返ることや自分と向き合う時間をつくることはとても大切なことであると考えた。自分自身のマインドをコントロールできるという共通点を持った日記と色を組み合わせることで、文章を書くことに苦手意識を持つ人にも、気軽に使ってもらえるものを目指した。また、誰かに見せるもの

キーワード：記録、感情、日記、色、カジュアル

ではなく自分だけで振り返るものだからこそ、具体的な言葉や文章ではなく色で残すという方法を取り入れた。

### 3-2 コンセプト

「カジュアルに楽しく、一日を大切に過ごす」

記録方法として文字は一切用いず、色のみを使用する。記録をするときも振り返るときも、わくわくする気持ちを楽しんでもらいたい。

### 3-3 商品説明

1月～12月までの記録ができるブック（全12ページ）を開くと、1ヶ月毎に日数分の穴が開いた袋とじのページがある。一日一色、その日を表す色を付けることを繰り返すと、自分の付けた色がイラストの一部となり、一つの絵が完成するという仕組みになっている。例えば、1月は「雪と雪だるま」をテーマとしたイラストにしておき、着色部分は雪となっている。雪本来の色ではなく、あえてそこに自分の感情の色を入れ込むことで、一つの絵が完成した時の色の違和感までも楽しんでほしいと思い、なるべく色のイメージを強く持ちすぎないものを着色部分の題材とした。

着色材には、女性がメイクをする際に使用するアイシャドウを用いた。その理由は、日記をより身近に気楽にとらえてもらい続けやすいものにする為には、毎日の習慣と関係性の高いものを使用することが効果的であると考えたからである。

### 3-4 デザイン

ロゴマーク、パッケージの外箱、リーフレット、ブック、カラーパレットの全てを、白×グレー×深みのある橙色の配色にすることで統一感を出した。

## 4. まとめ

今回卒業制作に取り組むにあたって、私自身の日常生活を振り返ってみたことが「miruiro」を制作する一番のきっかけとなった。本研究の制作物は「日記」であるが、重要視しているのは「カジュアルさ」「わくわく感」である。記録と振り返りを通して、自分と向き合う時間を気軽に楽しんでもらいたい。

私は、どうしても「色」で日々の記録を残したいという想いがあったため、どれだけ着色に手軽さを出せるかということに苦戦した。今回着色材に用いたアイシャドウには、手軽さはあるものの指が少々汚れてしまうという欠点もある。私は

そこにまだ改善の余地があると思う。また、今後の課題として、女性だけでなく男性にも使用したいと感じてもらえるようなデザインも検討していきたいと思う。



図1 商品セット内容

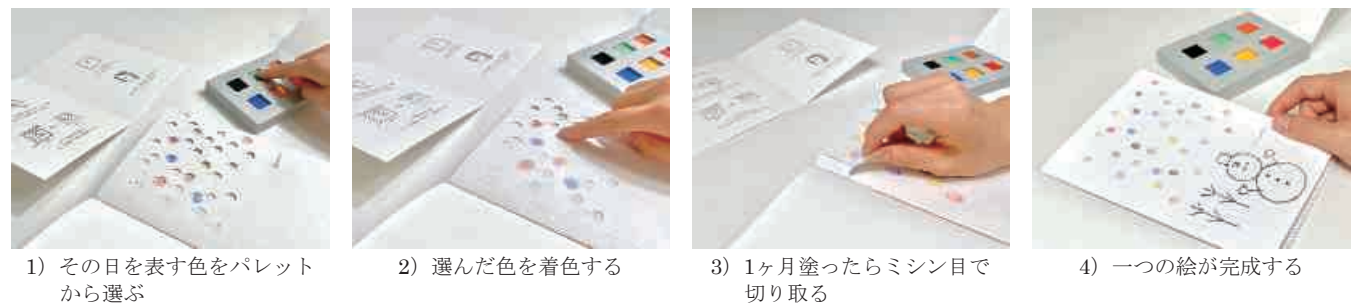


図2 「miruiro」使用の流れ

表1 月ごとのイラストテーマ

月	着色部分（穴あき部分）	イラスト（季節，行事）
1月	雪	雪だるま
2月	豆	鬼
3月	花	花束
4月	花びら	チューリップ
5月	鱗	鯉のぼり
6月	雨	傘
7月	短冊	笹
8月	花火	花火
9月	きのこの模様	きのこ
10月	お菓子	ハロウィンのかぼちゃ
11月	落ち葉	木
12月	オーナメント	クリスマスツリー